

令和7年11月27日

報道各位

本宮行政局産業建設課
課長 石塚 政也

令和7年度 幻の三体月観月会の開催について

平素は、熊野本宮観光協会の運営に格別のご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、毎年恒例の「幻の三体月観月会」を下記のとおり開催致しますので、取材並びに報道方よろしくお願い申し上げます。

記

日時 令和8年1月11日(日) 午後11時00分集合
集合場所 世界遺産熊野本宮館
参加費 無料
募集人数 先着20名(要事前申込)
申込先 熊野本宮観光協会

(TEL:0735-42-0735、FAX:0735-42-1606、e-mail:info@hongu.jp)

タイムスケジュール(予定)

23:00 受付開始
23:30 世界遺産熊野本宮館出発
23:50 大日山到着
0:00 星空・月出鑑賞(月の出 1月12日1:13)
2:00 大日山出発
2:20 世界遺産熊野本宮館到着 解散

※雨天の場合は中止いたします。

お問い合わせ先
熊野本宮観光協会
担当:坂田・戎
内線:78321
電話:0735-42-0735

令和7年度 幻の三体月観月会 概要

日時：令和8年1月11日（日） ※雨天中止

場所：大日山

定員：先着20名（予約制）

備考：世界遺産熊野本宮館⇄大日山はシャトルバス使用
レクリエーション保険加入

■三体月にまつわる伝説

◆三体月の伝説

熊野地方には、修験者が熊野の山中から昇る三体の月を見て法力を得たという伝説が残っています。

その昔修験者が、「11月23日の月が出たとき山頂で法力を得た。村の衆も山に登り月出を拝むがよい。三体の月が現れるであろう」と告げ、翌年里人が山頂に登ると、一体の月の左右から、さらに一体ずつ月が現れ、見事な三体の月が昇り出たということから、毎年旧暦の11月23日には、当地で月待ち行事が行われています。

◆熊野本宮大社の創建と三体月

第十代、崇神天皇の御代、大斎原のイチイの巨木に三体の月が降臨しました。月は自らを熊野三所権現であるとし、社殿を創って祀るようにとの神勅を下し、この命により大斎原に社殿が創建されたと云われています。

■タイムスケジュール

23：00	受付開始
23：30	世界遺産熊野本宮館出発
23：50	大日山到着
0：00	星空・月出鑑賞（月の出 1月12日1：13）
2：00	大日山出発
2：20	世界遺産熊野本宮館到着 解散

■ふるまい

月待ち中、暖をとれるよう、温泉コーヒー等の温かい飲み物を配布する。

祝田辺市20周年

幻の三体月観月会

熊野本宮大社の創建と三体月

第十代崇神天皇の御代、大斎原のイチイの巨木に三体の月が降臨しました。月は自らを熊野三所権現であるとし、社殿を創って祀るようにとの神勅を下します。

三体月の伝説

熊野地方には、修験者が熊野の山中から昇る三体の月を見て法力を得たという伝説が残っています。

令和8年1月11日（日）

時間：23:30～26:20（23:00 受付開始）

場所：本宮町大日山（世界遺産熊野本宮館よりバスで送迎）

定員：先着20名（要事前申込）

参加費：無料

申込先：熊野本宮観光協会 TEL 0735-42-0735